

事業活動温暖化対策計画に関する事項

新規 変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)		熊本市南区日吉2丁目2番37号			
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)		株式会社 三愛通信 代表取締役 北川繁樹			
事業概要		建設業 (設備工事業)			
該当する事業者要件	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	-	kl	
	<input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数	-	台	
	<input checked="" type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者				
計画期間		2021年度～2025年度			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針		2021年度作成したSDGS計画書に基づき省エネを推進し▲5%排出量を削減す			
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制		SDGS目標値の(計画/実績)を四半期で管理している。			
		環境マネジメントシステム名称	-	適用範囲	-
取得年月日		-			
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容		1.昼休みの一斉消灯(電灯の間引き)及び室内温度管理の徹底。 2.34Kw太陽光発電SYSを導入(2011年) ※原油換算で8.1kl			
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A) (2019)年度	前年度の実績 (2022)年度	目標年度(B) (2025)年度	増減率 ((B-A)/A)
		10.0 t-CO ₂	11.6 t-CO ₂	9.5 t-CO ₂	-5% %
	原単位温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(C)	前年度の実績	目標年度(D)	増減率 ((D-C)/C)
		0.171 原単位 当たり t-CO ₂	0.210 原単位 当たり t-CO ₂	0.162 原単位 当たり t-CO ₂	-5% %
原単位の考え方		社員51名の1人当たりの排出量			
特記事項		(電気使用量:2022年度実績) ・総使用量:44.926kwh (太陽光:25.083kwh) ・排出量係数:2015年度時の0.410を使用			

- 備考
- 1 のある欄には、該当する内に「レ印」を記入してください。
 - 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
 - 3 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。
「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
 - 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
 - 5 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
 - 6 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。